一　般　演　題

1. ^{201}Tl が集積した多発性骨髄腫の1例

品川　正治　　石橋　正敏　　大園　洋邦
西村　　浩　　内田　政史　　目野　茂宣
森田誠一郎　　早渕　尚文　（久留米大・放）

今回われわれは，右腸骨に発生した多発性骨髄腫に，^{201}Tl が集積した症例を経験したので報告する．症例は，平成6年11月頃より貧血が出現し，平成7年1月に近医にて肋骨骨折の加療するも改善認めないため，当大整形外科受診し多発性骨髄腫と診断される．その後，血液内科にて化学療法施行され，経過観察されていたが，右下肢の疼痛が出現し，^{201}Tl シンチを施行し，右腸骨の病変部に集積を認めた．多発性骨髄腫への ^{201}Tl の集積は，文献学的にも稀であり報告した．

2. ガリウムシンチが経過観察に有用であった足底部悪性末梢神経鞘腫の1例

谷口真由美　　長町　茂樹　　陣之内正史
中原　　浩　　Leo G. Flores II
渡邊　克司　　（宮崎医大・放）
柏木　輝行　　帳沙　悦男　　田嶋　直哉
（同・整外）
村山　寿彦　　（同・二病理）

症例は54歳男性．94年6月7日に右足底部皮下腫瘤の切除術を受けた．病理組織診断にて悪性末梢神経鞘腫と診断された．95年7月のGaシンチでは，異常集積は認められなかった．95年10月，切除部に再度皮下腫瘤を触知，さらに同側の鼠径リンパ節の腫脹も認められた．Gaシンチ上では腫瘤およびリンパ節に一致して高度の集積が認められ，足底部悪性末梢神経鞘腫の再発と診断された．本症例は再発の過程をGaシンチにて経過観察し得た，稀な足底部悪性末梢神経鞘腫の1例であり，定期的なGaシンチによるfollow upが有用と思われた．

また，足底部にGaの異常集積を認める疾患の鑑別診断に悪性末梢神経鞘腫も加える必要があると思われた．

3. 原発性肺癌に対する ^{201}Tl-SPECT の検討

平井　篤子　　荒川　昭彦（再春荘病院・放）
清藤　千景　　森山　英士　　前田　淳子
白川　妙子　　福島　一雄　　本田　　泉
難波　煌治　　直江　弘昭　　（同・内）
岡部　和利　　岡崎　伸治　　片渕　　茂
坂本　泰雄　　（同・外）
冨口　静二　　高橋　睦正（熊本大病院・放）

原発性肺癌13症例15病変に ^{201}Tl-SPECT を施行した．病変検出率を Blind study と CT 所見を参考とした Non-Blind study との相違および各組織型による Retention Index の相違を検討した．病変検出率は Non-Blind study で Blind study より高く，2 cm 未満33%，2 cm 以上3 cm 未満75%，3 cm 以上100% であった．Retention Index はばらつきが大きいものの腺癌で平均40.5，扁平上皮癌で平均 −4.9 と組織型との関連が示唆された．^{201}Tl-SPECT は CT に付加する肺癌の補助診断として有用と思われた．

4. 耳下腺腫瘍における ^{99m}Tc および ^{67}Ga シンチグラフィの有用性の評価

加藤　文雄　　石野　洋一　　中田　　肇
（産業医大・放）

耳下腺腫瘍における ^{99m}Tc および ^{67}Ga シンチグラフィの有用性を検討した．対象は Warthin 腫瘍 15例，多形腺腫 19例，悪性腫瘍8例の計42例である．Warthin 腫瘍の80% で，^{99m}Tc シンチにて腫瘍への集積亢進・クエン酸刺激後の排泄遅延が認められ，^{67}Ga シンチの集積はみられなかった．多形腺腫の58% は ^{99m}Tc シンチで欠損を呈した．^{67}Ga シンチの集積は様々であった．悪性腫瘍の75% は ^{99m}Tc シンチで欠損を呈し，3例は正常実質の破壊が著しかった．^{67}Ga シンチでは88% に高集積を認めた．Warthin 腫瘍に関

Presented by Medical*Online